令和6年度学校評価自己評価結果（自己評価は、ABCの3段階で実施）

水俣市立水東小学校

重点	具体的実践事項	指　標	指標の結果	職員自己評価	アンケート（平均） 児童	アンケート（平均） 保護者	自己評価	取組状況（〇成果　●課題）	改善策	自己評価の妥当性	ご意見等
1 豊かな心の育成	「愛の１２３運動」＋１の実施 各種アンケート、教育相談の実施 ＳＳＷ・ＳＣ等の活用	〇ｉ-check「先生に褒められたことがある」で肯定的な回答の児童【95%以上】 〇心のアンケート「いじめられたことがある」で該当の児童【5%以下】	× 93.5 0.4	4.0	3.63	3.56	B	①昨年度の課題であった「きらりカード」の取組は、縦割り班での取組により改善が図れた。 ②人権宣言「絶対いじめのない水東小にするために」を全校児童で話し合って決め、2学期の人権集会で振り返りと今後の取組について話し合った。 ③特別支援教育については、専門機関への相談等を活用し、状況改善へとつながったケースが散見された。 ❹保護者に対して、道徳科や人権学習の授業公開にとどまらず、児童の感想を紹介するなどの啓発が望まれる。	❹人権教育推進委員会を定期開催し、啓発についても計画を立て、計画的に実施できるようにする。	妥当 6人 要修正 A:３人	・「いじめがあった」で評価をさげるのではなく、その対応がよければプラス評価でいいと思います。 ・データの数字を参考とすると、プラス評価でいいと思います。 ・「先生に褒められたことがある」もわずかな差であり、いじめ事案の内容を考慮してもAで良いのでははないかと思いました。学校での取組が保護者に伝わりにくいこともありますので、職員の努力に重点を置かれてもよいかと感じました。
	UDの視点による授業の実施 専門機関等との連携による個別指導	職員の教育反省の評価【平均3.3以上】	〇 4.0	4.0							
	「熊本の心」等を活用した授業展開 学習内容等の保護者や地域への啓発	〇ｉ-check「自分には良いところがある」で肯定的な回答の児童【75%以上】 〇心のアンケート「だれかの役に立っている」で肯定的な回答の児童【85%以上】	〇 80.1 85.2	3.2							
	３Ａ運動（あいさつ、あつまり、あとしまつ）プラス１（ありがとう）の推進	児童アンケートで肯定的な回答をしている児童の割合【90%以上】	〇 98.0	4.0							
2 確かな学力の育成	単元のゴールの姿をイメージした学習計画の立案 一人一人の学びの保障 ICT機器を活用した授業づくり ノートコンクールの確実な実施	心のアンケート「授業がよく分かる」で肯定的な回答の児童【95%以上】	〇 97.7	4.0	3.42	3.39	B	⑤県学力・学習状況調査では、ほとんどの学年において、正答率が県平均を上回ることができた。 ⑥タブレットや自主学習ノートでの家庭学習を通して基礎学力の充実を図り、一定の成果を得ることができた。 ⑦読書活動の推進については、全体的に肯定的な評価は上がった。しかし、読んでいる児童と読まない児童がおり、個人差がある。 ❸「水東タイム」の活用は、全職員で継続的に実施できたが、県学力・学習状況調査等の問題活用や調査結果は、学年差が見られた。	❸今後も、学力充実については、全職員共通理解のもと、日課の工夫等の取組改善を行っていきたい。	妥当 9人	・心のアンケート97.7%回答は、すごいです。 ・少人数を生かした丁寧なご指導を今後ともよろしくお願いいたします。
	「水東タイム」の活用による個に応じた指導 県学力・学習状況調査等の問題活用	職員の教育反省の評価【平均3.5以上】	× 3.4	3.4							
	本に親しむ環境づくり 「本かりデー」の確実な実施	児童の読書に関する肯定的な評価【80%以上】	〇 97.2	3.6							
	「自主的な学習」の習慣化に向けた取組 家庭学習の定着化を目指した取組	ｉ-check「計画を立てて勉強をしている」で肯定的な回答の児童【80%以上】	× 58.3	3.2							

重点	具体的実践事項	指　標	指標の結果	職員自己評価	アンケート（平均）		自己評価	取組状況 （〇成果　●課題）	改善策	自己評価の妥当性	ご意見等
					児童	保護者					
3 健康な身体の育成	運動量の確保、めあて学習の充実 新体力テスト結果の活用	職員の教育反省の評価の平均【3.3以上】	〇 4.0	4.0	3.53	3.58	A	⑧新体力テストの結果の課題であった運動を授業の一部に取り入れ、体力向上に努めた。加えて、2回の新体力テストの実施も効果的であった。 ⑨学期初めの身体測定時の生活リズムや風邪の予防などの保健指導等、各学年年間4回ずつの充実した保健指導を実施した。 ⑩外遊びを好む児童は多いが、個人差があったため、縦割り班遊びや全員遊び、ボールを使わない遊びの日の設定等を実施した。 ⑪家庭へう歯の処置を働きかけが、100%に達した。	❾早寝、早起きについては、アンケートにとどまらず、保健便り等を活用し、保護者啓発が必要である。	妥当 9人	・縦割り班で遊ぶのは、少人数校ならではと思うのでいいと思います。
	全校体育の実施と外遊びの励行	児童の運動に関する肯定的な評価【90%以上】	〇 98.2	3.2							
	疾病治療に関する日常的な保健指導 日常的な安全指導の徹底	う歯の未処置者への働きかけ【95%以上】	〇 100	4.0							
	給食と教科等を関連させた活動の充実 家庭との連携・啓発活動の充実	ｉ-check「毎日朝食を食べている」で肯定的な回答の児童【95%以上】	〇 98.1	3.6							
	早寝、早起きの取組	児童アンケート「決まった時刻に寝ている」で肯定的な回答の児童【80%以上】	〇 88.0	3.8							
4 五者連携・協働の推進	学校運営協議会「水東っ子育成協議会」の推進 保護者・地域の方と連携した学習活動の推進 積極的な情報公開（学校ホームページ等）	保護者の連携・協働に関する肯定的な評価【85%以上】	〇 96.6	3.3		3.55	B	⑫八区合同運動会や餅つき踊りなど、地域の方に支援いただき、貴重な体験の場を設定することができた。 ⓭学校運営協議会における提案を受け、地域と連携した学習活動等実施し始めたが、今後更なる取組が必要である。	⓭学校運営協議会における児童や職員の参画の機会を設け、地域と連携した学習活動等についての工夫改善案をもとに実施する。	妥当 7人 要修正 A:2人	・地域との連携はうまくいっていると思います。（水俣のモデル） ・指標の結果や取組の内容から考えると、Aでも良いかと思いましたが、今後の更なる工夫という点だと理解しました。 ・相互理解を深めるためにも協議会、保護者、児童、教師間の対話の機会の継続をよろしくお願いいたします。 ・取組状況を見せてもらった状況では、Aでも良いのではないかと思います。特に地域の方との連携については、水俣市の他の学校と比較しても全く引けを取らないと思います。
5 環境教育の推進	校内や学級内掲示の工夫 計画的な栽培活動、地域との連携	計画に沿った栽培活動の実施率【90%以上】	〇 100	3.5		3.73	A	⓮安全点検を確実に実施し、可能な限り、学校において改善を図るべき場所には、対応できた。加えて、教育委員会と連携し、改善を図ったケースもあった。 ⓯学校版環境ISOは、児童主体の活動になるよう更なる工夫が必要である。	⓯委員会活動の内容を見直し、学校版環境ISOとSDGsを関連付けた取組を設定する。	妥当 9人	
	定期的な安産点検の実施と事後措置の確認 備品等の整備・整理、校舎内外の整備	計画に沿った安全点検の実施率【100%】	〇 100	3.9							
	計画的な避難訓練等の確実な実施	計画的に沿った避難訓練の実施率【100%】	〇 100	4.0							
6 働き方改革・生き方改革の推進	心身の健康への配慮 業務の精選・効率化 学校外への啓発	自己の働き方改革の実施率80%以上の職員【80%以上】	〇 75	3.0			B	⓱ボトムアップ研修の実施により、職員の意識は高まったものの、働き方改革の意識には個人差がある。	⓱より効率的に業務を進められるよう、計画から実施までの流れを見直す。	妥当 8人 要修正 A:1人	・先生方の話し合いで業務改善を期待します。 ・先生方も努力されていると思うので、評価していいと思います。